

甲状腺の病気は意外に多く、男性では 50  
～100人に1人、女性では 30～60 人に1人の割合で  
す。

## 甲状腺の病気

### 甲状腺とは？！

甲状腺は首の前側、のどぼとけのすぐ下にあります。

蝶が羽を広げたような形で気管を包み込むようにあり、たて4cm、厚さ1cm、  
重さ15g くらいの小さな臓器です。

正常の甲状腺は柔らかいので、外から手で触ってもわかりませんが、  
腫れてくると手で触ることができ、首を見ただけで腫れているのがわかります。



### 甲状腺はどんな働きをしているの？！

甲状腺は、食べ物に含まれるヨウ素を材料にして甲状腺ホルモンを作り、血液中に分泌するところ  
です。

甲状腺ホルモンには、体の発育を促進し、新陳代謝を盛んにする働きがあります。

つまり、活動するために必要なエネルギーを作り、快適な生活を送るためになくてはならないホル  
モンです。

甲状腺ホルモンは多すぎても少なすぎても体調が悪くなってしまいます。

### 甲状腺に異常があるとどうなるの？！

甲状腺の異常は主に3つに分けられます。

- 甲状腺ホルモンが多い状態（バセドウ病など）
- 甲状腺ホルモンが少ない状態（橋本病など）
- 甲状腺におできが出来た状態（良性・悪性）

甲状腺ホルモンが多くなったり少なくなったりすると  
全身に様々な辛い症状が現れ、原因がわからない体調  
不良や、疲れが溜まった状態が続きます。

今回は罹患者が多い**バセドウ病**、**橋本病**について、それぞれ症状、診断に必要な検査、治療につい  
てお話しします。

### こんな症状が現れます！！

4つ以上当てはまるものがあったら医師にご

相談ください

甲状腺ホルモンが多い時現れる症状 (バセドウ病など)	甲状腺ホルモンが少ない時に現れる症状 (橋本病など)
<input type="checkbox"/> 疲れやすさやだるさがある	<input type="checkbox"/> 疲れやすさやだるさがある
<input type="checkbox"/> 汗が異常に多い	<input type="checkbox"/> 汗が少ない
<input type="checkbox"/> 暑がりである	<input type="checkbox"/> 寒がりである
<input type="checkbox"/> 脈拍数が多く、動悸がする	<input type="checkbox"/> 脈拍数が少ない
<input type="checkbox"/> 手足がふるえる	<input type="checkbox"/> むくむ（顔、全身）
<input type="checkbox"/> 甲状腺が腫れる	<input type="checkbox"/> 甲状腺が腫れる
<input type="checkbox"/> 食欲が旺盛である	<input type="checkbox"/> 体重が増える
<input type="checkbox"/> イライラする	<input type="checkbox"/> 気力がない
<input type="checkbox"/> かゆみがある	<input type="checkbox"/> 皮膚が乾燥する
<input type="checkbox"/> 口が渇く	<input type="checkbox"/> 眠たい
<input type="checkbox"/> 眠れない	<input type="checkbox"/> 物忘れしやすい
<input type="checkbox"/> 微熱が続く	<input type="checkbox"/> 動作が鈍い
<input type="checkbox"/> 息切れがする	<input type="checkbox"/> 髪の毛が抜ける



- 髪の毛が抜ける
- 排便の回数が増える
- 眼球が出てくる

- 便秘
- 筋力が低下する

## 診断に必要な検査は何があるの？！

### ●血液検査（代表的なもの）

- 甲状腺ホルモン fT3  
--- 活性型の甲状腺ホルモンで、強い甲状腺ホルモン作用があります。
- 甲状腺ホルモン fT4  
--- fT3 の原料で、弱い甲状腺ホルモン作用があります。
- 甲状腺刺激ホルモン TSH  
--- 甲状腺にホルモン分泌を促すために、脳から出されるホルモンです。

### ●超音波検査

--- 超音波によって甲状腺の大きさや形状を確認します。

### ●甲状腺シンチグラム

--- 放射性ヨードを利用して、ホルモンの産生状態を画像的に確認します。

（※当院ではおこなっておりません。）

## 治療法は？！

### バセドウ病などの場合：

- 1) 抗甲状腺剤による服薬治療
- 2) 放射線内照射療法（アイソトープ治療）
- 3) 手術

まずは服薬治療でホルモン値の正常値化や抗体の不活性化を目指しますが、副作用があったり薬物による完治が望めなかったりする場合は、過剰なホルモン生成をし続けてしまう甲状腺自体の機能をとりのぞく 2), 3) の治療を行います。それぞれ一長一短があるので、個々に最適な治療が選択されます。

### 橋本病などの場合：

- 1) 甲状腺ホルモン剤による服薬治療

甲状腺ホルモン剤で体内のホルモン量を正常に保てるように、不足分を補充します。直接 fT3 の補充をするよりも fT4 の補充をすることで、作用時間を長く、また体内の恒常機能を利用して安定した状態を導く作用を期待します。橋本病は自己免疫疾患で、完治する病気というより体質ととらえた方がよい病気で、ホルモン補充は長期にわたるのが一般的です。甲状腺ホルモン剤は副作用は比較的少なく、長期服用も心配のない薬です。

## 気になるかたは受診を！！

甲状腺の病気は頻度が高いわりに症状が軽いことが多いため、見逃されたり、放置されていることが多いものです。簡単な血液検査でホルモンバランスも測定でき、各種の治療方法が確立されています。気になる点がある方は、ぜひ受診してみましょう。

京都協立病院 TEL 42-044

0